

大阪赤十字病院より
地域の先生方へ

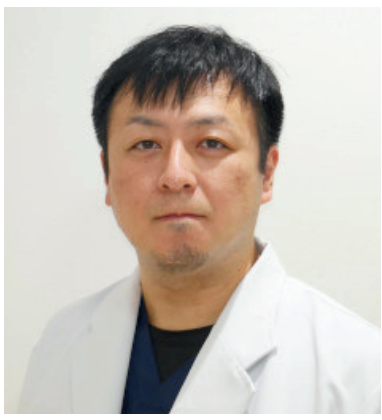
2026年10月

News Letter

便失禁専門外来開設のご案内

便失禁専門外来を開設しました

消化器外科部　医長
岡田　倫明



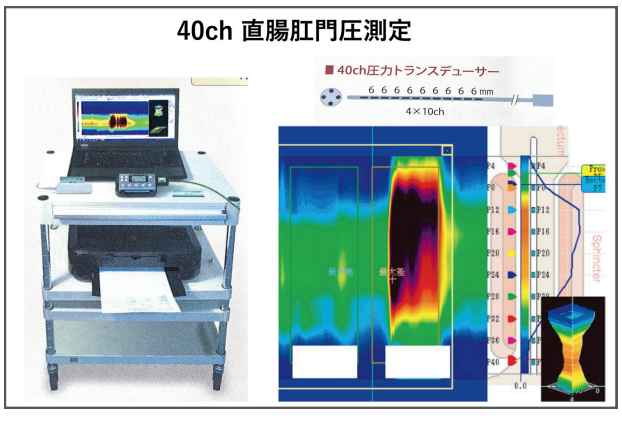
　このたび、「便失禁専門外来」を開設いたしました。
　当院ではこれまで、直腸がん術後の排便機能障害（LARS：低位前方切除症候群）に対し、排便・生活指導、薬物療法、骨盤底筋訓練、バイオフィードバック療法などを行ってまいりました。
　今回、最新の直腸肛門内圧測定装置を導入するとともに、保存的治療で十分な改善が得られない患者さんに対する仙骨神経刺激療法（SNM）にも対応し、便失禁に対する専門的な診療体制を整備しました。

便失禁に対する専門的な診療（当院の特徴）

① 最新の直腸肛門内圧測定装置による機能評価
　肛門・直腸の機能を客観的かつ詳細に評価し、便失禁の病態把握や治療方針の決定、治療効果の判定に活用します。
② 保存療法から専門的治療まで一貫して対応
　排便・生活指導、薬物療法、骨盤底筋訓練、バイオフィードバック療法など、病態に応じた段階的な治療を行います。
③ 仙骨神経刺激療法（SNM）に対応
　保存的治療で十分な改善が得られない患者さんに対し、適応評価から試験刺激、本植込み後のフォローアップまで一貫して対応します。

このような患者さんをご紹介ください

- **便失禁を認める患者さん**
- **便意切迫感が強く、失禁を繰り返す患者さん**
- **保存的治療で改善が乏しい患者さん**
- **仙骨神経刺激療法（SNM）の適応評価を希望される患者さん**



便失禁や排便機能障害の診療でお困りの患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

※便秘のみの患者さんは診療対象としておりません。また、認知症やフレイル、寝たきりなどにより検査や指導が難しい場合は、治療効果が十分に得られないことがあります。

News Letterに関するお問い合わせ

日本赤十字社　大阪赤十字病院
連絡先（地域医療連携室直通）
TEL:06-6774-5127　　FAX：06-6774-5126

FAX予約受付時間　　※受信は24時間対応
平　日　８：３０～２０：００
土曜日　８：３０～１３：００
祝日・年末年始(12/29～1/3)、創立記念日(5/1)は除く

News Letterでは、新任医師の紹介や診療体制、施設・設備に関する最新情報などをお届けします。

日本赤十字社 大阪赤十字病院



診療科のご案内

消化器外科

― 全領域を網羅する高度消化器外科医療の中核拠点―

特　色

全領域対応×ロボット手術で挑む消化器がん外科の最前線

当院は、日本外科学会・日本消化器外科学会などの認定を受けた高度専門施設であり、地域がん診療連携拠点病院として消化器がん外科診療の中核を担っています。がんの根治と機能温存、合併症低減の両立を重視した外科治療を実践しています。

2024年には「**食道がん診療センター**」「**大腸・直腸がんセンター**」「**肝胆膵がんセンター**」を開設し、診療体制をさらに強化。各領域の専門性を集約した集学的治療により、より高度で一貫した医療提供を実現しています。

食道・胃・大腸・肝・膵・胆道の全領域において、腹腔鏡およびロボット支援下手術を標準的に実施しており、特に「ダヴィンチXi」を用いた低侵襲手術は国内でも有数の手術件数を誇ります。2台体制により、紹介から手術までの待機期間短縮にも対応しています。

さらに、虫垂炎や胆嚢炎、消化管穿孔、イレウス、嵌頓ヘルニアなどの緊急手術にも24時間体制で対応。高齢者や併存疾患を有する患者さんにも、多職種・多診療科で連携し、安全で質の高い医療を提供しています。

専門担当医

上部消化管（食道・胃）〔食道がん診療センター〕	下部消化管（結腸・直腸）〔大腸がん・直腸がんセンター〕	肝臓・胆道・膵臓〔肝胆膵がんセンター〕
・細木副部長 ・下池医長	・野村副部長 ・岡田医長	・森部長 副院長 ・濱口副部長 ・白井医長

ロボット支援下手術プロクター

医師	部位	ロボット支援下手術プロクター
野村	大腸	結腸・直腸
細木	胃	食道、胃
濱口	肝臓	肝臓
岡田	大腸	直腸

診療担当表

月	火	水	木	金
岡田 倫明＊	白井 久也	谷岡 葵	細木 久裕＊	日笠 兼太郎
濱口 雄平＊	下池 典広＊	野村 明成＊	(AM)森 章 (PM)樺井 良太朗	増田 健人
穐山 竣＊	岩井 祐人	(AM)川相 雄暉 (PM)坂本 周平	中野 弘志	堀田 健太＊

＊ 日本内視鏡外科学会技術認定医

地域の先生方へ

先生方には平素より大変お世話になっております。地域がん診療連携拠点病院として、がん診療を中心としつつ、赤十字病院としての基本使命を大切に、緊急手術体制のさらなる充実を計っていこうと考えています。
よろしくお願い申し上げます。